

## 授業科目

## 対人コミュニケーション論（介護福祉コースを除く）

担当教員名 五十嵐 紀子	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・視機・健栄・スポ・ 社会（介護福祉コースを除く）・看護・情報
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	○

## 授業の概要

対人コミュニケーションの理論を学ぶことで、他者との関わりにおける人間の社会的行為について理解を深める。日常的な場面を理論に照らし合わせながら、自己理解、他者理解についての学びを深め、実社会での対人コミュニケーションに応用しようとする意欲を高める。

## 授業の目的

上手く人を説得できたり、人とすぐ打ち解けたりするスキルを修得することは、この授業の目的ではない。私たちのコミュニケーションが、いかに様々な力で動かされているのかということに目を向けることが目的である。固定観念に囚われないことや、人を色眼鏡で見ないことは意外と難しいことを自覚しつつ、自分の中にあるステレオタイプを克服することが、人間関係を良くするという気づきを得ることを期待する。

## 学習目標

1. 対人コミュニケーションの理論を理解する
2. 身近なことや社会現象などに学んだ理論を当てはめ考察できる
3. ステレオタイプとは何かを理解し、例を挙げて説明できる
4. 自分の中にあるステレオタイプへの気づきを得る
5. より良い人間関係形成のために、自分に必要なことは何か、考えることができる

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション	・オリエンテーション：授業計画と評価に関する説明 ・コミュニケーションとは何か？ ・コミュニケーション学とは何を学ぶ学問か？	五十嵐 紀子
2	言語・非言語コミュニケーション	・コミュニケーションにおける時空 ・同じ場所と一緒に過ごしているのにどうしてわかり合えないのか？	五十嵐 紀子
3	自己理解と他者理解	・傾聴・共感に過剰に期待しないこと ・感情とは何か？ ・他者理解のために、なぜ自己を知らなければならないのか？	五十嵐 紀子
4	説得と納得	・相手に思いを伝えたい、同意してもらいたい、でも難しいのはなぜ？ ・スピーチ理論から学ぶ他者理解と働きかけ ・万能な説得術はないけれど、ヒントはある	五十嵐 紀子
5	語り合う意味	・様々な語りの事例から、語り合う意味を考える ・ステレオタイプへの気づき ・レポート課題の説明	五十嵐 紀子
6	社会の変化が対人関係に与える影響	・テクノロジーの発達 ・社会の変化と、人の意識の変化のスピードの違いがもたらすもの	五十嵐 紀子
7	誤解・衝突	・誤解・衝突はなぜ起こるか？ ・対立してしまう現象とどう向き合うか？	五十嵐 紀子
8	まとめ		五十嵐 紀子

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	日常から考えるコミュニケーション学	池田理知子	ナカニシヤ出版	2015年	2,000円+税	授業で扱わないページもありますが、授業の内容に関連して、あるいは発展的に読んでいただきたい本です。参考になるので、可能であれば購入することをおすすめします
	ハンドアウト					授業で適宜配布

その他の資料	授業のスライド					授業終了後、ポータルサイトにUP
--------	---------	--	--	--	--	------------------

### 評価方法

コメントシート15%、レポート試験70%、授業参加15%

コメントシート： 毎回の授業の終了時に、授業の感想や、授業の内容に関連するお題について、考えたことを書く

レポート： 自分の個人的経験について、授業で紹介したコミュニケーション学的視点で分析し、考えたことを書く

授業参加： 授業中の発言、周囲との積極的なディスカッション、授業に関する様々なサポートなど

### 履修上の留意点

講義形式ですが、授業中意見や感想、質問などを求めます。積極的に授業に参加する姿勢を高く評価します。

授業中の私語、スマートフォンなどの操作は禁止します。

ノート代わりに、PCやiPadなどの使用することを認めます。

授業終了後に、授業で使用したパワーポイントのスライド資料をPDF形式でポータルサイトにUPします。その他、参考にしてほしい情報や役に立ちそうな資料なども載せることがありますので、定期的に確認して下さい。

全7回～8回の授業となります。2回以上欠席した場合、評価の対象外となりますので注意して下さい。

### オフィスアワー・連絡先

原則として、メールでアポイント（日時のお約束）をとってからいらして下さい。

メールでの質問、相談はいつでもOKです。

研究室：J406（J棟 4F）

メール：igarasi@nuhw.ac.jp